

1. 平成31年度（令和元年度）水質概要

「平成31年度水質検査計画」の「3. 水質管理上留意すべき事項」に記載している事項を中心に水質概要を示す。なお、平成31年度（令和元年度）の検査結果は、すべての浄水及び給水栓水において水質基準に適合していた。

1. 1 消毒副生成物について

主要3浄水場（古国府浄水場、えのくま浄水場、横尾浄水場）において、原水水質の悪化や水温の上昇等を原因として、消毒副生成物の濃度が上昇する時期があったが、原水水質の状況、浄水及び給水栓水の消毒副生成物濃度等をきめ細かく把握し、浄水場での粉末活性炭注入、塩素注入の適正化等の対策を講じることで、消毒副生成物の低減化を図った。

1. 2 異臭味について

降雨に伴いかび臭物質である2-メチルイソボルネオールやジェオスミンが、原水においてやや高濃度化することがあった。かび臭物質を含有した原水を浄水処理する過程において、粉末活性炭注入率を増量し、浄水におけるかび臭物質の低減化を図った。